



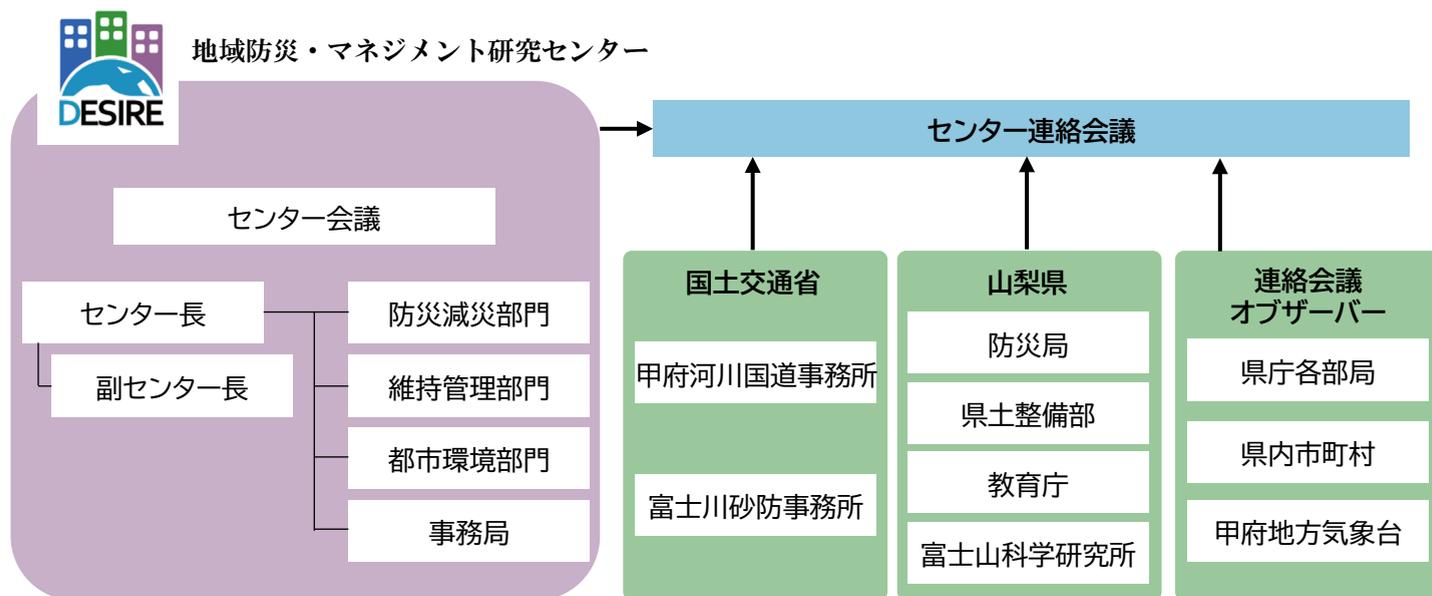
山梨大学大学院総合研究部付属

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable admInistration REsearch center, University of Yamanashi



組織構成



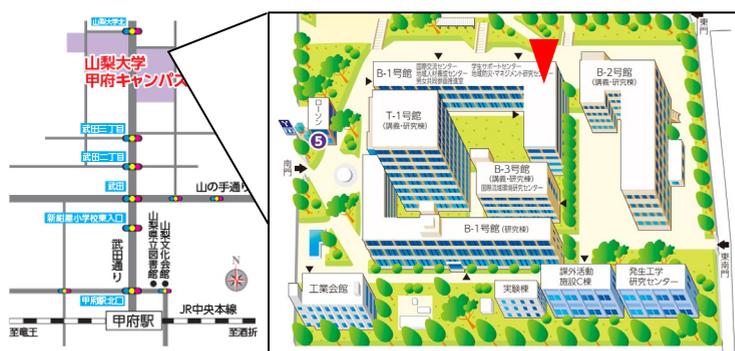
所属教員

常勤				常勤		
センター長	斉藤 成彦	教授	構造力学・メンテナンス	大槻 順朗	助教	河川工学
	大山 勲	教授	地域・都市計画	佐藤 賢之介	助教	コンクリート材料学
	金子 栄廣	教授	水質浄化	佐藤 史弥	助教	防災計画
	武藤 慎一	教授	都市・交通計画	宮沢 直季	助教	河川工学
	森 一博	教授	水処理, 微生物	非常勤		
	後藤 聡	准教授	地盤	鈴木 猛康	客員教授	山梨大学名誉教授
	秦 康範	准教授	地域防災・災害情報	石峯 康浩	客員教授	富士山科学研究所
	宮本 崇	准教授	AI・深層学習	内山 高	客員教授	富士山科学研究所
	八重樫 咲子	准教授	河川生態	吉本 充宏	客員教授	富士山科学研究所
	吉田 純司	准教授	構造力学	本多 亮	客員准教授	富士山科学研究所

※2022年度現在

お問い合わせ・アクセス

〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11
 山梨大学甲府キャンパス工学部B1号館234
 (土木工学科事務室)
 Tel: 055(220)8518
 HP: <http://desire.yamanashi.ac.jp/>





山梨大学大学院総合研究部付属

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

地域の
シンクタンク

地域を
まもる
人材育成

地域連携の
拠点

持続可能な地域づくりに貢献します

地域を支える
インフラドクター



- ▶ 地域の社会基盤施設の維持管理に関する技術的支援を行います。

全国で急速に進む社会インフラの老朽化。地域のインフラが取り残された存在であってはなりません。私たちは、地域インフラの「専門医」として、効率のよい診断技術の開発、健全度評価の支援、効果的な修繕方法の提案を推進していきます。

環境を活かした
グリーンインフラの提案



- ▶ 緑豊かな山梨の自然と環境を守り、生かす技術を探求し提案していきます。

従来のインフラは地域の災害軽減に大きく貢献しましたが、自然を改変し破壊してきたことも忘れてはいけません。自然を損なわず活用し、社会インフラとしての機能と環境を両立するグリーンインフラの技術開発を展開し、提案していきます。

持続的な都市環境
システムの提案



- ▶ 豊かなくらしの基盤となる都市環境整備に貢献します。

くらしに欠かせない水。温暖化の影響は洪水のみならず濁水ももたらし、水温や生物への影響を通じて、地域の水システムの維持に大きな影響を与えます。将来の水インフラの最適化を見据え、技術開発を推進します。



山梨大学地域防災・マネジメント研究センターは、山梨に貢献する地域に根差した研究組織として、2011年5月に山梨大学工学部土木環境工学科付属の研究センターとして設立され、2016年10月には大学院総合研究部附属研究センターと位置づけられ、地域防災の研究拠点としての地位を確立しました。センターの運営には、山梨県、富士山科学研究所、国土交通省甲府河川国道事務所・富士川砂防事務所が加わることで、地域と密接に連携した取組みを展開しています。激甚化・頻発化する自然災害、深刻化する気候変動、人口減少社会の到来など、地域が抱える様々な課題に対して、「地域のシンクタンク」、「地域をまもる人材育成」、「地域連携の拠点」を活動の柱に据えて、地域防災の推進、都市環境の維持と向上、地域の社会基盤(インフラ)の計画立案や維持管理に対する支援など、専門知識の提供や専門家の派遣などを行っています。センターの設立から10年が経過し、地域との連携をより一層強化することで、持続可能な地域づくりへのさらなる貢献を目指しています。

地域防災・ 地域連携の拠点



- ▶ 地域の様々な主体が連携し、協働で取り組む防災・減災活動を支援します。

激甚化・頻発化する自然災害に対して、地域のあらゆる主体が連携・協働し、防災対策を推進することが求められています。私たちは、地域防災・地域連携の拠点として防災活動を促進し、さらなる地域の防災力向上を実現します。

フェーズフリーな 社会の実現



- ▶ 防災に関わる新しい考え方「フェーズフリー」の普及啓発を推進します。

日常時と非常時を区別せず、モノやサービスをいずれの場面でも利用できる「フェーズフリー」の考え方が注目されています。「フェーズフリー」を地域防災から社会インフラなど様々な分野に浸透させ、安全で豊かな社会を実現します。

まちづくりの 計画立案・策定支援



- ▶ 災害に強く地域の活性化を促すまちづくりを提案します。

地域の活性化には、組織の垣根を越えた大きな構想が必要です。私たちは、まちづくりに関わる広範な専門知識を有機的に結び付け、実践に役立てるようにする「調整役」として、山梨の未来を描くお手伝いをしていきます。